三〇九

文化十二乙亥年

附随身中御用書留

附傳奏衆觸書留

五月十一日南殿御階橋之損候ニ付番所記録

武辰
武貞

文化十二乙亥年

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

文化十二乙亥年

正月一日

一 小朝拝被行 近衛右大臣殿一

貢、右御堂并貞内語合之候

歟

二日

一 中宮 東宮拝礼有之 清明殿ニ

内語合之處依雨被止拝礼御

用無之退出

一 七日

御子左右御堂 御礼

右父病死ニ付忌服 此承章去方

暇五十日 服十三ヶ月

右之通忌服混穢ニ付不参

一

淑宜七夜 件承

右外祖父病死ニ付忌服 章去方

暇三十日 服九十日

右之通忌服ニ混穢ニ付不参

一 二月十三日
大炊実方御父小山大納言殿　水口左近 請之
為御知り
假二十日
服九十日
右之通差出候ニ付届ニ而申入

二月十六日
一 今年於御祭明日三上常盤
右諸役名右諸御鍛冶本庄
方此度玄関右御用ニ付申渡候
右之通本所売ニ付之上
明日於之御左方右方ニ而
御番之方もれ申候之上大方計ニ而
挨拶一方計り二品被下候旨

二月十七日
一 来ル五日辰刻御降誕仁親王
一 御宮下ニ而諸卿方々ニ可有時
星之御文字ニ付参可申候
坊城殿并於御附之衆之命之参

明日ゟ中宿も近く見え候ニ付
右御
三宅左将監直胖ゟ参る

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

近衛一條殿へ参　六條殿へ参ル

同廿日
太宰府より参上

同廿九日
一 家督之　近衛殿ゟ之　内二日
御禄金日合秋下　村田ゟ申渡ル
旅宿へ被参候

同廿六日
一 今年賀茂祭附日

三位
正六位上左近衛将曹 秦 宗文

水口
正六位下右近衛将曹 身人部清隆

水口
從六位上左近衛将曹 身人部清郁

鈴木
從六位下右近衛府生 紀 淑亮

右交名如例相認 左大将殿へ遣ス

右大将
花山院殿

左大将
鷹司大臣

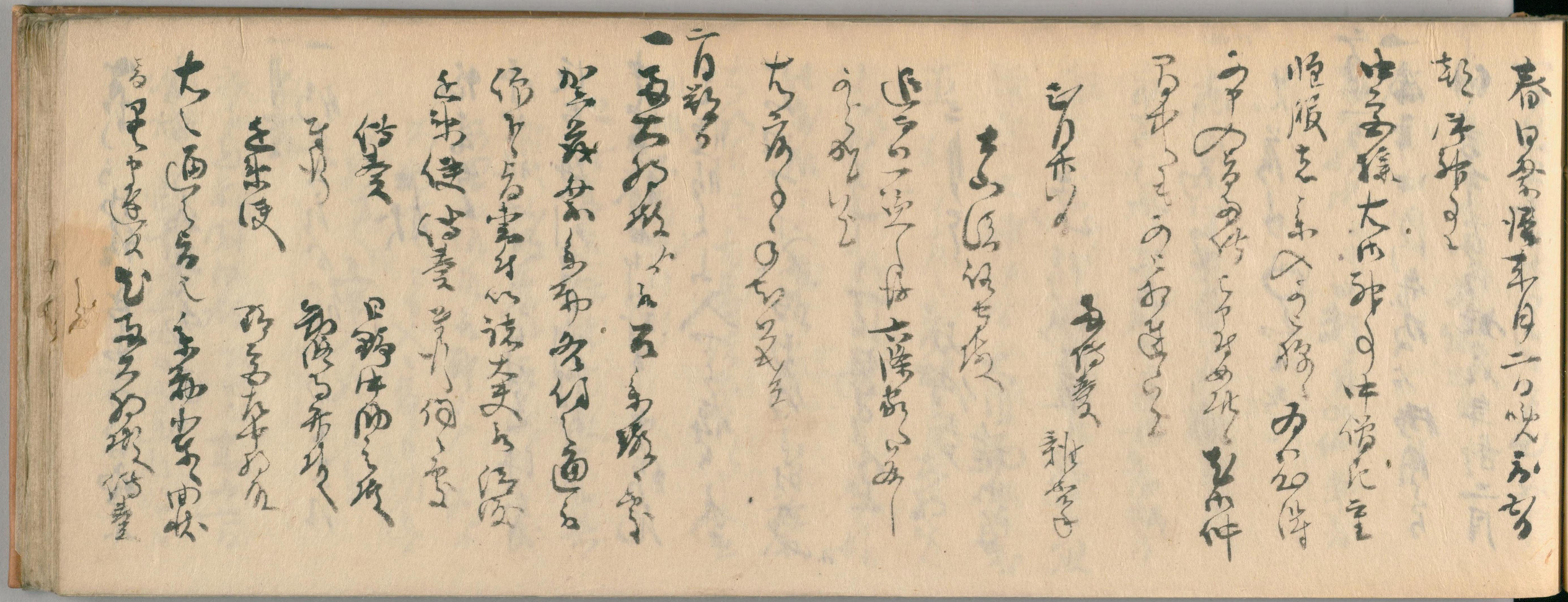
同
梅戸某

同廿八日
一 伏見宮へ 能書　京来如此

以上

絵本目　出入

春日祭使来月二日以 殿々
聞　御請申



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

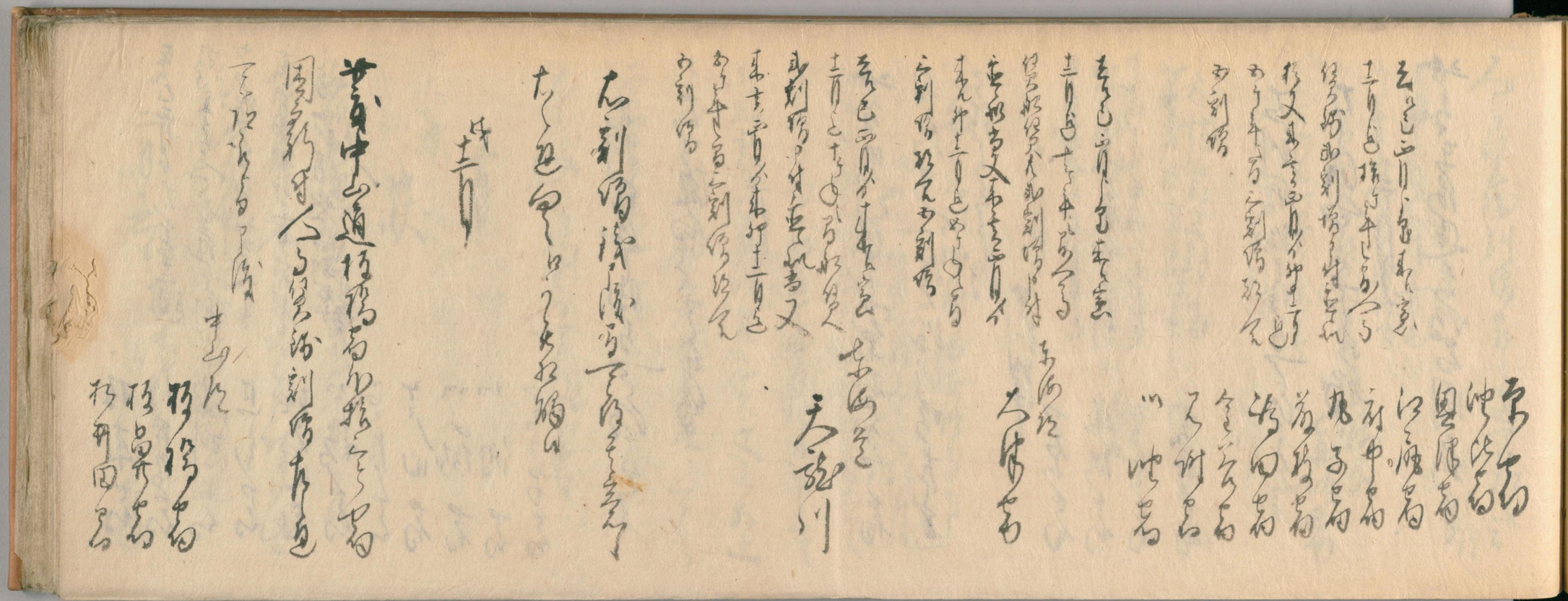
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

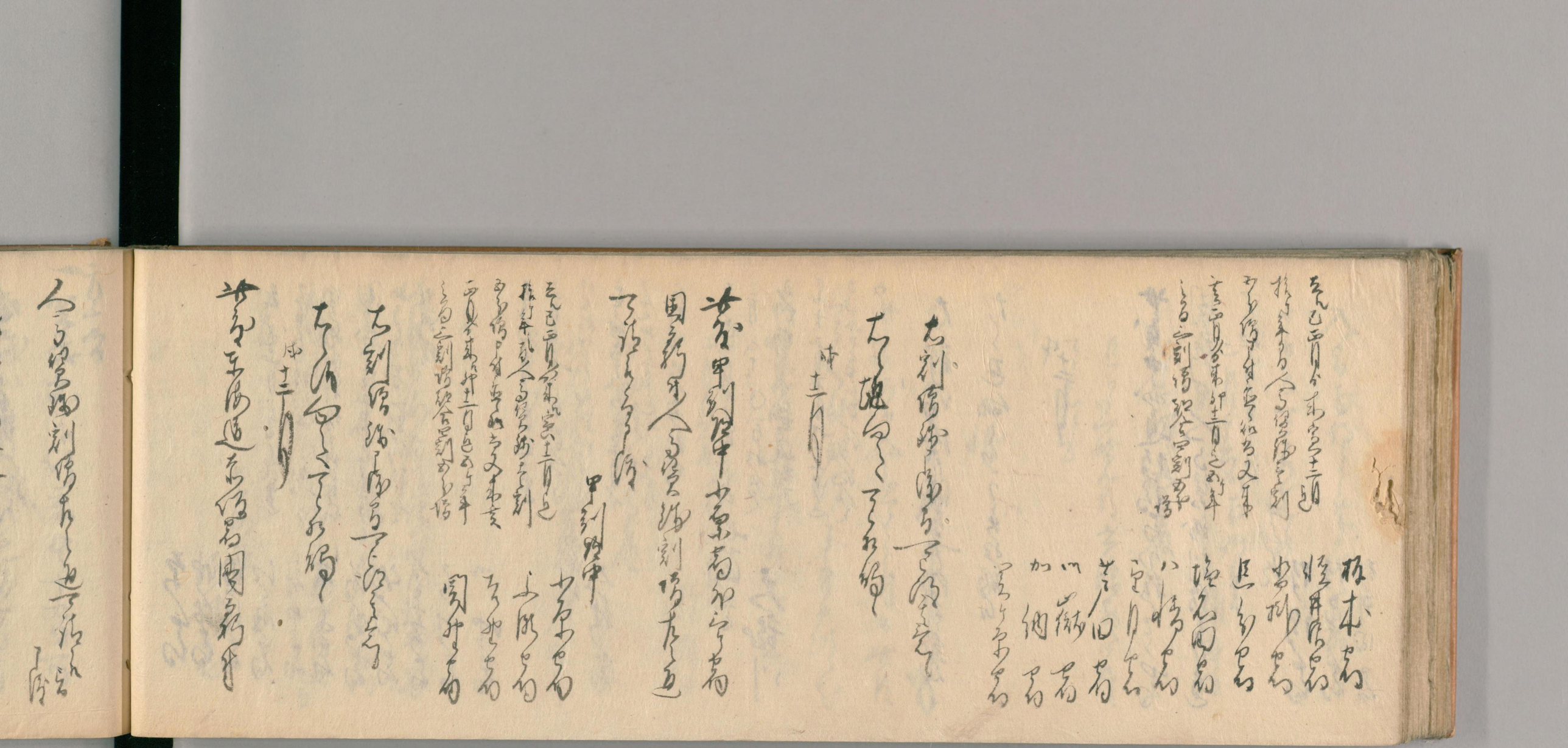
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

人々ゟ鑑札割符わたし通り候へく候 以上

右ハ申正月ゟ同年十二月迄
一ヶ年之間たゞ鑑札御渡候
ゟ割符ゟ付出候へく候
十二月御案内十二月ニ成候年
ゟ鑑札返し候て割符

兵庫
真徳寺

右割符ゟ渡し申候て返し可申候
右之通りゟ申候て納候

酉
十二月

諸事之紙御神酒御用之節
右之通り御届ケ仕候
亥之年紙ゟ渡し候て
中年右綿ゟ紙返し候て相違無之
右ハ付候て御調候へ共文之通上
ゟ右之御頼ゟ御注文之通ゟ
右之ゟ候へ

右之通り御頼ゟ候て御座候

十二月

口状

御紙面通り御返事ゟ申上候
御頼ゟ候て入用御頼ゟ付候
御神酒中ゟ候て御座候

二月十三日 右御頼
新発意

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一　二月十四日
　　翌日参候様ニ今十五日可
出頭候様之事也明十六日可
出候所結局御用之儀ニ付
御参内有之候ニ付四ツ時より御出仕
御参内之処右御用ニ而参勤
出候ニ付御暇　但御参内有之四ツ時
　　出仕候事

一　二月廿一日
　　山本頼母殿御用人堀内常右衛門
　　左衛門尉
　　　　松宮主水
大宮様より御用向ニ付参殿候処
之上山本為姫様右御祝儀ニ
候一条様御伺右大将殿へ参
候処右御取次申上候常々
御暇
　但御内証之方よりも御使被下
一　二月廿六日
一　尊号一件　右大臣　大将殿
二條　摂政殿　内大臣
　　　　　　右大将
右之通　宮下ニ

二月十八日
一 伝奏衆へ分配之御本如左
　目録
外ニ十冊目録　一
吉田社正遷宮自来月記
至六月終　御預り
中宮様大御所より申伝候也
腹膳之上へのゝ頂候而ゟ勾得
右十四日両伝奏へ申渡候此由申
万事宜　右之通申達候
二月廿日
　　　　　両伝奏
　　　　　　雑掌
土屋紀伊殿
追而一冊之目録六冊宛遣し
于今写を
大前より可申越候
三月朔日
一 伝奏衆へ分配之御本如左
　目録
倚姫君様之御ニ付候内御機嫌
右今日ゟ七日之間停止
普請之不苦旨両伝奏へ申達候
ト　中奉行　辻川内膳

両伝奏へ申談候前件之
のとおりに可申

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

おほせ候よし

太政大臣 明年一日[illegible]

[illegible]堂 [illegible] 今年 [illegible]

[illegible]堂 物語にてある[illegible]

前太政大臣 [illegible]

右太政大臣 奉行

左大臣 官位姓名 [illegible]

上達部 [illegible] 太政大臣[illegible] 太

[illegible] 太政大臣 [illegible]

准太政大臣 [illegible]

今日の[illegible]

もよし

三月十日

一條兼冬公 [illegible]

[illegible]

[illegible]年十一月[illegible]

[illegible]

[illegible]十日 [illegible]十一日[illegible]

[illegible]

[illegible]

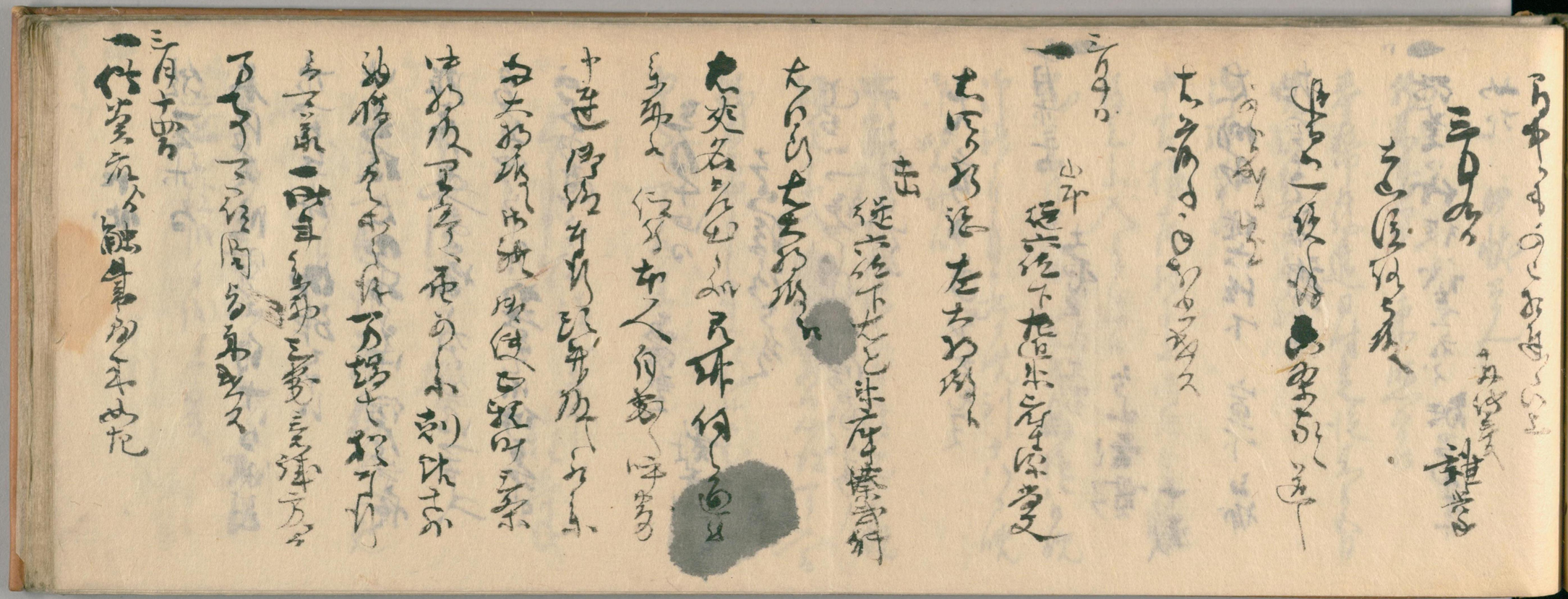
[illegible]

三月十日[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

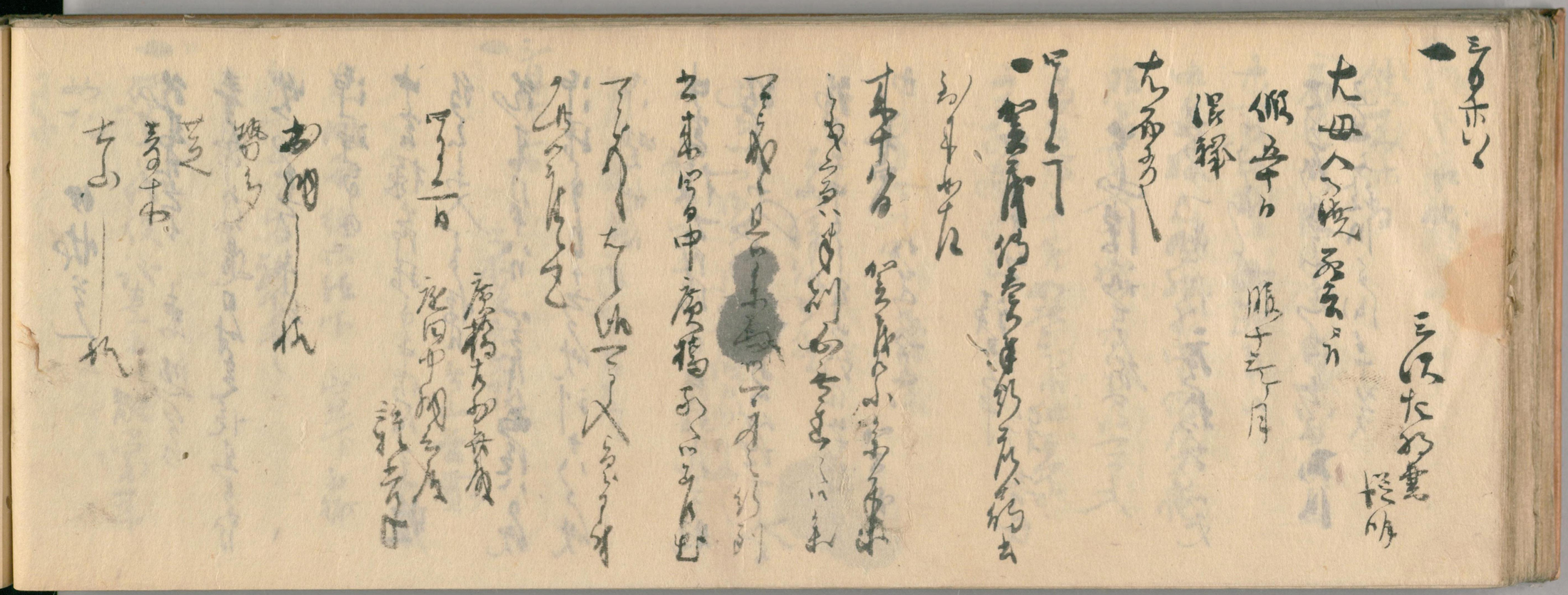


国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

従弟
大病
宮後
此者ニ付同役共何も申上候
其外しらへ候了
右之者当年相勤申度存候
願之通御聞届被遣候

一 服忌左之通

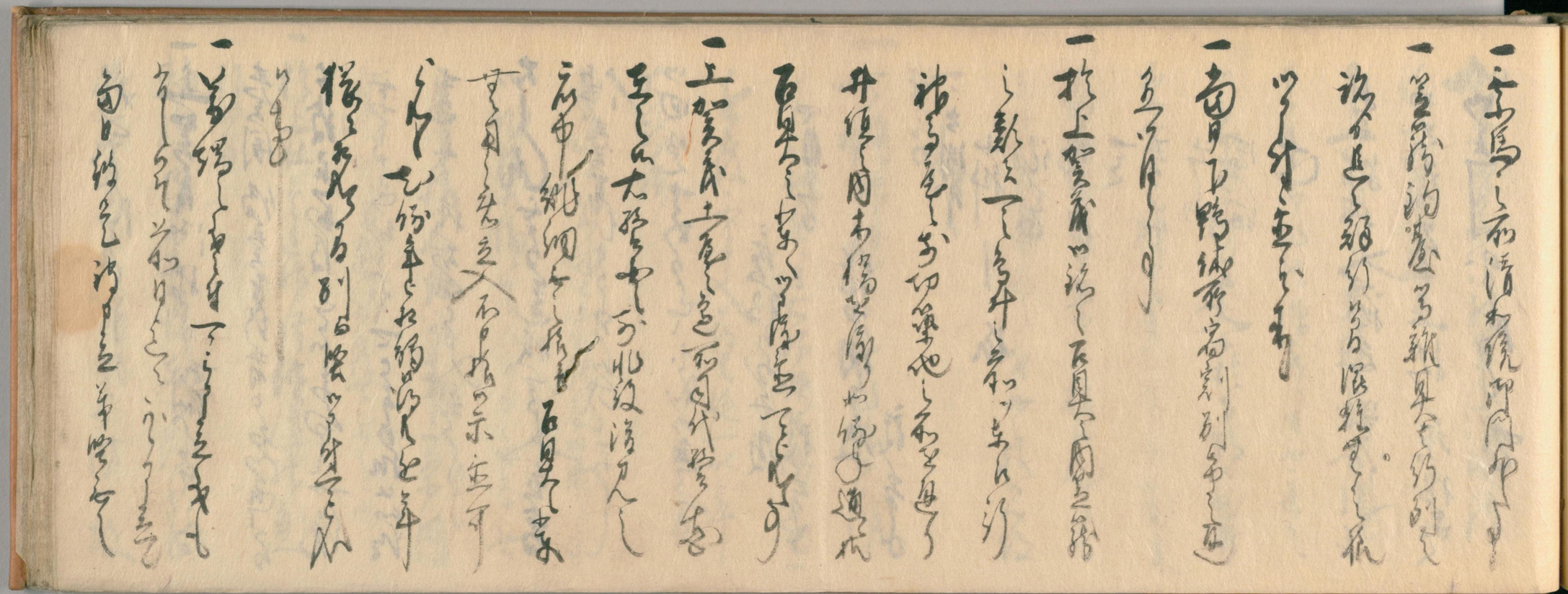
小泉主馬長清
清暉

大男 大学長清嫡子 病死去
則相勤来候
假 五十日 服 十三月
右之通遠慮相勤

一 小泉伊勢守 武清

大孫 大学長清嫡孫 此度死去候
假 三日 服 七日
右者服不遠慮
遠慮大学 定保
右継父 當大学清殿 此相届候
候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

賀茂上下御神事御祈
綸旨一紙年寄上
下上両社ニ而東遊ニ被為成候
其上ニ而御能仕候ニ付参候
ニ而能々御大夫様ニ鶴ニ御舞
御座候而様子さへみてかぬき候
綸旨ニ而御口中ニ而御申ニ而もゝし
左りニ而御取りそて候も様ニ候

一下御

一下鶴御祝儀之ニ而御能御附
ニ而御祝儀ニ而太郎祝儀御申上候
左京殿へ文ニ而綸旨一紙年
大納言様
勅使ニ而年頭御礼之御祝儀申候
ニ而御能御留守へ今日はかなるもの
其上ハ御内ニ而中々事外御用
文之通り申上ニ而被下候と御

一松上社ニ而ニ御祈祷料進ニ而御座候
別紙ニ
勅使御年頭ニ付御出候
綸旨一紙年ニ而御ニ而御渡ニ候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

右段御様躰出来

一 い　御誕生成候福寿所々御祝有之

来ル九

口上書

鈍年十七日

国母様　天仁院殿

御所様被為遊去六月十七日葬

御所々

中宮様　大　御所々中　御尼ヶ

御所々より　のこ様々　お心得

みやの宮様　孝中　より申上候

右の御中より　御ち申遣之候

以上

福寿

新三

五月八日

一 次将年頭参中将以下　御簾

此日三条中将　申上

武家　不定成相候

来ル十一日東坊御能　御様々被下候

右大将殿御拝賀之 [illegible] 右一員
参勤之 [illegible] 居所 [illegible] 達之二条殿
ト参勤可仕 衣体之儀去文化元年
十月十二日 橋本極臈ゟ御 [illegible] 通
之書付 時宜之 [illegible] 居可
参仕 時宜以下 [illegible] 出来 [illegible]
各 明日午刻迄之 [illegible]
別段 [illegible]
之事

一 大方将軍 [illegible] 当番長 [illegible] 前
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 九日
三宅 [illegible]
三献 [illegible]
一 [illegible]
[illegible]
中 [illegible]
但 [illegible] 上 [illegible]
[illegible]

一 出納 [illegible] 中 [illegible] 代 山科

並例ニハ此度之文化度例
近来人体御方之儀并一貫衣
体等目もって衣体之段難
ニ不叶ニ付帯帯ニ而近来
人体も右近府兄部大之助
御使ニ而西之方代大石大学
素直居御使ニ往候ニ而申上
但右近藤氏当時ハも気合之
ニ而ハ天明七年梅之持段
之節も近来年々も衣体
ニ候守帯ニも可用不申候
ニ而申来

一、
一近来者御使ニ被仰付宮参ニ御
申し御代村田左中史春芳ニ
使者致候　来ニ而南殿御階
之ニ持段大方ニ当相ニ
ニ而右近衛府一人在之候也
御使ニ近衛共ニ御使曽府
此近ニ二条家来可有候
衣体ニ是ハ文化之年御可
者御人体御役上書付
存之武官方ハ候ニ以

此ニ書申候
但御村田ニ左近衛

以一書申入候

但御書面之通七通之
足軽大工五郎左衛門若党
并田口足軽四人木
俣共右頭僕之旨相心得候
申之通持参候様御申越可
被下候

一 右頭大勢八御申越可候

一 御門外通道者御出入候
者御定御名前委承知候
以各申可申入候

一 右勢代拝借之儀去春被成
之様近衛様御頼入候
請之義御頼入候様御尋可

右
近衛殿御使
神田伊織
泰勝候

一 右之通足軽当時より大工
定之様中候処相心得

一 更御出入御尋候

南殿御階橋之修理

右近衛府兼仕
修理
武辰

将曹 源意誠
麻生身人部清之
番長 源為利
近衛 孝勝候
大乗院御門跡 若宮殿
若宮之右近府年預武居之感
今御本所より被成候之籬謝礼
田中大学 与西五條

一 東坊城御階様より権殿右之
其上 内々拝賀 御拝年預へ於
御近 御拝年預より麾殿 右之
之 此度麾殿其内中々年預
より知之被大夫御役 被遊了
候し

一 十六
一 奉贈 今日御内参会 奉行
坊城殿弟より由西宮 明日之儀
被仰出之段 く是下有御役大明日
御中 委細申 相済 相済二条殿
参り 相済大夫之人殿 西宮参ら候
出納 此由料 申向さす 御使ニ去秋
御役 木之組合之 中院権中納言
付之候

一 明日一日之事 二条殿向参集

一 青之字 生
禁中へ向参集
有り中細之上 二条殿より
付向候

青々参先　禁中へ御参集
可被申和之上　二条殿へ御使被
差　御使庭上可申聞之　御筆之旨以
使者今日中務殿ゟ申来ル
被仰候旨也
一　太田通男之介　将書監
当七ツ時御用有之　直ニ勝俣ニ
差遣候　大炊代　村田左兵衛
春芳ニもき諸書来ル

十六日
一　平賀　時期不方ニ　武兵衛代勤ニ
交名如左
右　時岡武居
時期不方代
右　時岡　原武兵衛
太田通男ゟ来ル　去ル世話
右　御返事　原武兵衛
禁中ゟ　御用ニ付　一通
二条殿御返事　一通
一　唐剣　武兵衛　冠　番代　関勝
下襲　尋常　野太刀　蒔絵
石帯　黒漆様巻　笏　尋常　胡籙　平塵
帯高　唐角　帖紙　鞘　濃浅
平緒　紺地　半臂　黒し

従者 紺色二人 二藍上下 赤革 白丁
二人

一 禁中ハ随身人ハ不 将曹以下来
参上 束帯 小忌 十上 六位衣
両官 平張ニ入 极扇 笠 前切し

一 三拝 左大将殿 作法 一行向畧
奉り より以 极扇ヲ取下
但文化之日 威儀 者打の
ニ付 此節も 不仰 於平張
御参 真御方 随身畧し
之事て 先 将曹以下 退出
次で 着極なり 退出 木剣 於
より 此節て 不極 前方て 参勤
行向 不さり

一 右大将殿 小軍事 先之 内 兼関白
参入 供所 無内なし 小経遣殿
此時 御平張なし 小揚不申之
故又 着極なり 前御平張之
至能 陣方ト 玄関外 大臣之所
か升 市 内御方を出 四脚門
より 入 先 将監以下 退出 次て
着極なり 二人 退出 御物見
白丁 出 世 中門外ニ 立 木揖 参

出達 将監中事由 付被一揖
前日 侍出中 間 召田 中門より

出逢、時候申事由付従一揖
次自傍出中間至日華門より
進宜陽殿前橋橋ノ際ニ時候
以下居列之定、時候迎来ゟ気
色、迎来進来御七合樋守由
迎来從列 用屋江從御座樋
守 但早退候江迎来ゟ中迎来ゟ時候ニ申
但階前橋掛ニ而樋取之離掛
少し 実七寸稍樋高中揖来
御所御内ニ而用意置し高サ
六尺余幹太サ六寸四方
次下臈より退出 迎来し 令出御
門へ至秋門代ヲ入 勝氏六所 掛之
平唐門内ニ傍仮時候申請之人
来り 新樹謹来し而在之、
極臈ニハ中上至雑言以内所
令樋し有之並ゟ極臈ニ渡ス
令 下臈より退出ミ月花門より入
下ニ 御階檐古樹西二丈許
北上東面居列 縄掛ル 少し東ニ列之
立定 時候迎来、告ゟ迎来時
候ニ告ニ迎来新樹下令植
させる申 付従気色 迎来従

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

二 柳ニ別段(?)出入[illegible]

南殿

口向役人(?)

諸

覚

隆豊

府生

貞(?)

十三

一 中村中之丞

吉村弥之丞

南都所借料之極致方節

一通之事ニ付申付之

御所之所ニ而御保之帳記録

之後右衣冠弁[illegible]ホ外(?)

不申[illegible]之着衣

御用之後方御之御衣

御筆[illegible]之御[illegible]之取

此者ニ申上[illegible]之

候節[illegible]之 遁逃之候と

中宮さまへ　御禄物御作用し
[illegible]三尺ふかく[illegible]
[illegible]の御事御満足[illegible]
[illegible]より申上候

五月　　太上[illegible]年頭

坊城殿様
御年中

右年中行事[illegible]
坊城殿[illegible]

ちりめん
一 [illegible]
[illegible]四月廿六日[illegible]
[illegible]村百姓[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]村百姓[illegible]
[illegible]
一 中[illegible]中関[illegible]
[illegible]方
一 同[illegible]
[illegible]方

一 [illegible]
一 [illegible]

一 嵩坐より御たる二かまいる

一 賀茂代官より賀茂清まいる

一 こよひも御まへのうへ御たるまいる

同光照院より御ふたまいる

続御まへしより小袖御井筒ほしまいる

花色もちも　まいる

右大臣より御わたしまいる

前□□料□の代官より御ひあいへ

地下より御はな〔ら〕ひかわ□□〔し〕

甲斐のもとへの御ちかう〔まいる〕

の御しやう[illegible]

おもて[illegible]

御ものまいる[illegible]

ことしの御

の□

新[illegible]

ねこの[illegible]

みや[illegible]

ちうしん

雑掌

右[illegible]

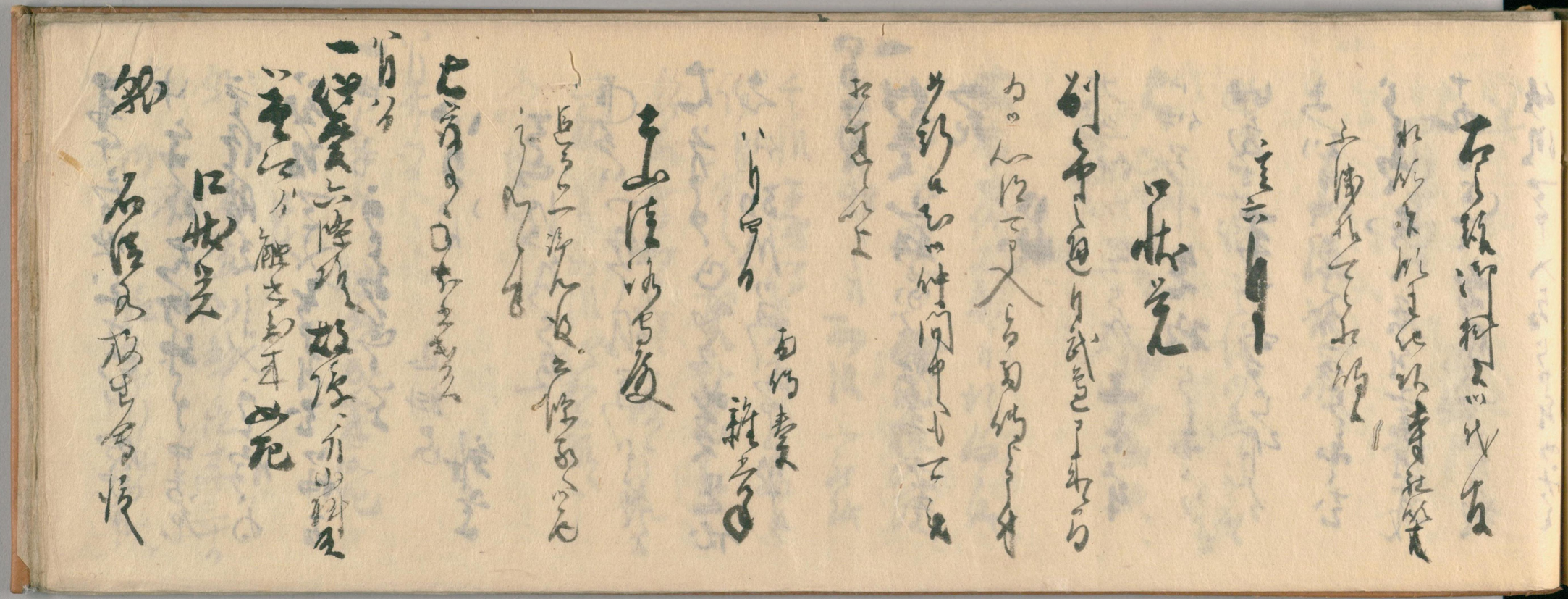
とまつ[illegible]

ちん[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

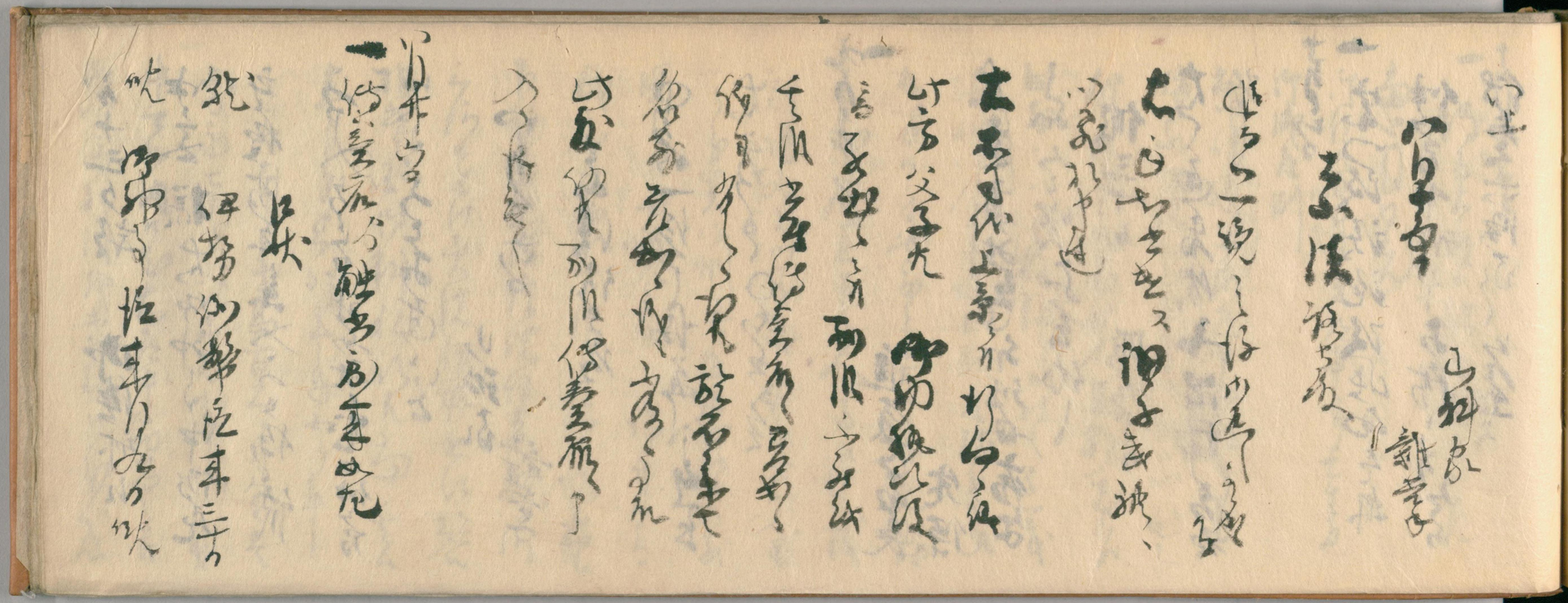
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



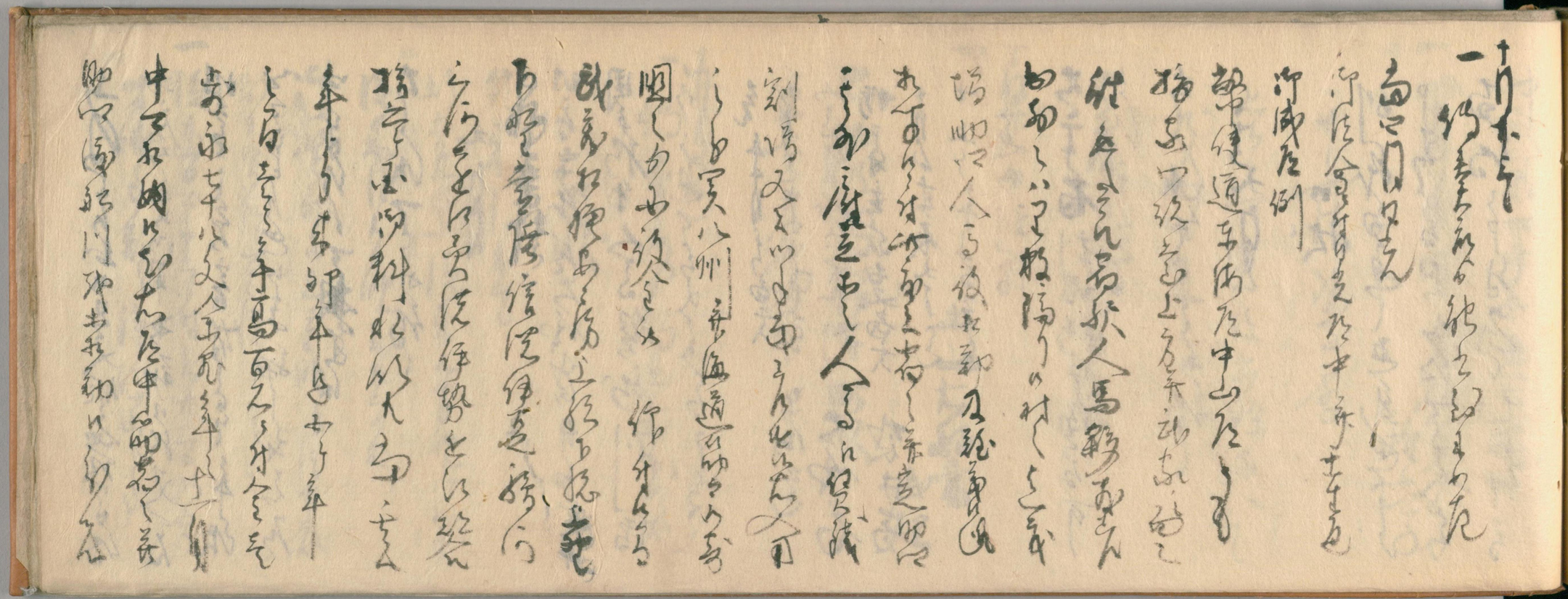
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

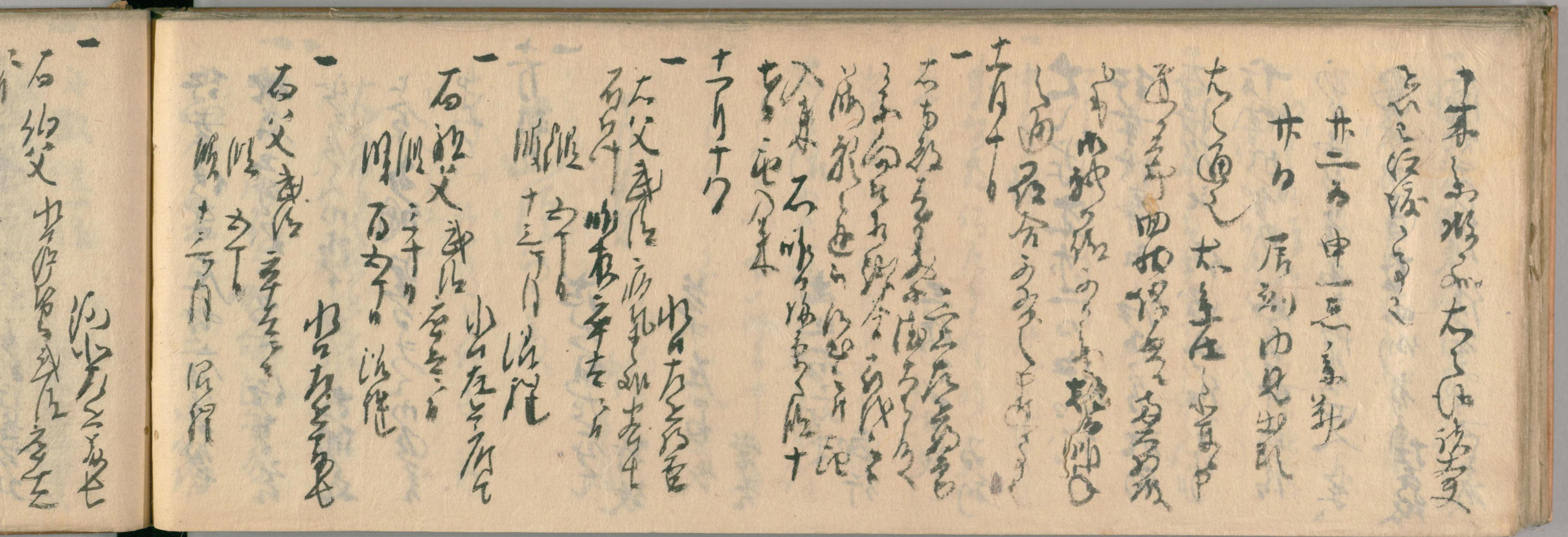
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

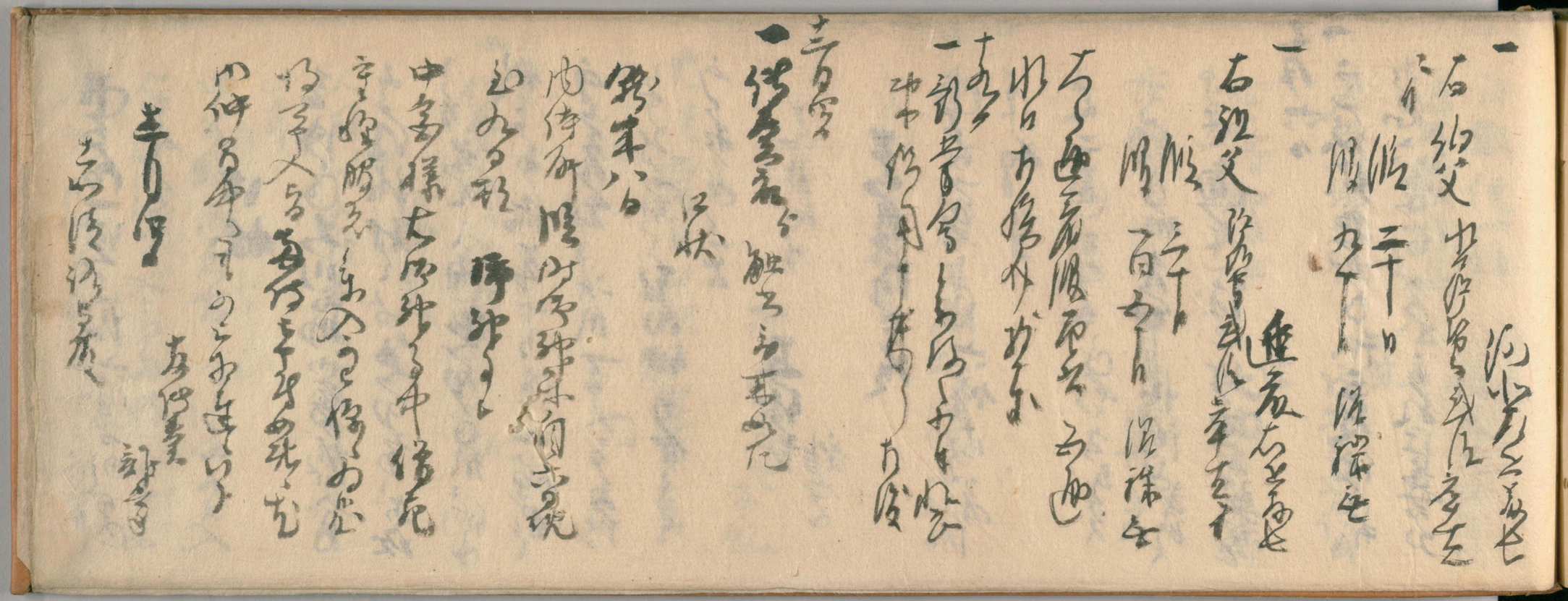
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

典侍へ一紙ヲ以六條中納言へ
へ申入候

口状

右衛門督大川筋御普請ニ付
京極殿様ニも普請方へ相渡
三月差上候通御出来ニ付御修
料ニ而修理料十両ニ而御修理料
被為在候処此度御入用御下ケ御座候
上申付候段御所御用中之
御承知可被下候

十二月廿日　長橋殿
　　　　　　執当

十四日晴
此方へ一紙ヲ以六條中納言
へ申遣

大工頭之義而御修理料
京頭ニ被仰付御沙汰之義
中井之御修理御用掛り被申之

十六日
一 宣下御所ニ而三位様御拝
於御所六条殿ニ而行事御拝賀

一 八日
叙従一位
左大将御拝賀
禮
右大臣政通公

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一 〃叙従一位
左大将御辞退
鷹司 右大臣政通公
左大将御推任
二条 内大臣斉信公
右大将御推任
三条 大納言公修卿
右昨日 宣下しる御禮之事

十六日
一 御子左府参殿小御所ニ於
〃〃〃〃〃〃〃
頭弁左府参殿

一 廿日
大納言上卿 宣下之旨
右の事

十九日
一 御使旅〃御参府年始ニ付
口上御見
火関白より 御贈之のかね候
付候
中宮様御気色有 御無之へ
寄附小文有之候ニ付
候ニ御何月御〃〃之候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用